

2023年5月10日

各 位

株式会社北國フィナンシャルホールディングス
株式会社 CC イノベーション

CCI 海外ビジネス通信 「シンガポール販路開拓の効果を高めるアフターコロナの戦略」の 配信について

株式会社 CC イノベーション（代表取締役社長 多田 隆保）では、お客さまの事業性理解と経営課題の解決に向けたご支援の一環として、各種レポートを配信しています。

今般、「シンガポール販路開拓の効果を高めるアフターコロナの戦略」についてレポートを作成いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社ではお客さまの最新の業界動向や経営実態の把握に努め、ニーズに応じたソリューションの提供を行っています。今後もお客さまの経営課題解決に貢献できるようサポートしてまいります。

記

| | |
|-------|--|
| テ ー マ | 「シンガポール販路開拓の効果を高めるアフターコロナの戦略」 |
| 概 要 | コロナ関連の規制緩和が進み、活気を取り戻した海外の販路開拓関連イベントを紹介。現地のバイヤーの声をもとに、アフターコロナの海外販路開拓の効果を高めるポイントを解説。 |

下記のリンクより、レポートをご覧ください。

レポート一覧 URL : <https://www.ccinnovation.co.jp/report/>

以 上

テーマ

シンガポール販路開拓の効果を高めるアフターコロナの戦略

- ✓ シンガポールの国際見本市、展示会の頻度、規模はコロナ前の水準に戻った。
- ✓ 久々の海外商談会では、多くの出会いが期待できる分、現地でのアフターフォローが重要。
- ✓ 海外催事の効果は高いが、人気が高く、出展選考もあるため、戦略的に進める必要がある。

アフターコロナのシンガポール見本市、展示会

海外展開を検討する企業にとってコロナの影響は大きな課題となっていました。現在では渡航制限が緩和され、現地営業活動も自由に行える環境に戻り、海外でのビジネスチャンスは増えています。シンガポールで従来開催されていた大規模な国際見本市や展示会も、2023年にはほとんど従来の規模で復活しており、海外ビジネス拡大、新しい市場への進出を目指すのに適した環境が戻ってきました。

アフターコロナの時代においては、特にグローバルビジネスはオンラインとオフラインを融合した形が通常となっており、企業はスピード感をもって現地ニーズや要望に応えることが求められています。そのため、商談会等イベントで現地商談を行った後も、海外とのコミュニケーションを密にし、現地ニーズに合わせたマーケティング戦略を展開することが必要不可欠です。また、信頼関係を築くことも重要であり、取引が成立した後も常に顧客とのコミュニケーションを取り続けることが、長期的なビジネス展開につながります。

【2023年シンガポールで開催される食品関連の見本市、展示会】

| イベント名 | 会期 | 出展対象品目 |
|-------------------------------|---------------------------|---|
| FHA 2023 | 2023年04月25日 ~ 2023年04月28日 | 食品、飲料、食品原料、食品加工・包装技術、ワイン&スピリッツ、フードテックなど |
| Cafe Asia 2023 | 2023年05月25日 ~ 2023年05月27日 | コーヒーショップ・紅茶事業のための設備、機械、付属品、その他の供給品・製品など |
| ICT Asia 2023 | 2023年05月25日 ~ 2023年05月27日 | ココア、コーヒー、紅茶、パッケージング、飲食物品、ペーカリー用品、菓子など |
| Restaurant Asia 2023 | 2023年05月25日 ~ 2023年05月27日 | 農業・垂直農法、ビール、ワイン、スピリッツ、缶詰・加工食品、など |
| SFFA 2023 | 2023年09月26日 ~ 2023年09月28日 | 前菜・代替食品・ペーカリー&菓子・飲料・チーズと乳製品など |
| Food2Go 2023 | 2023年09月26日 ~ 2023年09月28日 | フードデリバリーやテイクアウトに関連する技術やソリューション |
| RPBA 2023 | 2023年09月26日 ~ 2023年09月28日 | ノンアルコールドリンク、バーフード、スナック、飲料、ソフトドリンクなど |
| SCTA 2023 | 2023年09月26日 ~ 2023年09月28日 | コーヒー/コーヒー豆・ココア/カカオ豆・ミルク&オルタナティブミルクなど |
| MPA 2023 | 2023年09月26日 ~ 2023年09月28日 | 食肉、加工肉、食肉分析、品質、認証、食肉加工のための衣類および個人用保護具など |
| Food Japan 2023 | 2023年10月11日 ~ 2023年10月13日 | 農産品、畜産品、水産品、加工食品、菓子、デザート、スナックなど |
| Agri-Food Tech Expo Asia 2023 | 2023年10月31日 ~ 2023年11月02日 | 食品加工・食品包装、都市農業・スマート農業、水産養殖、持続可能性・資源管理など |

※詳細は主催者の公式ウェブサイトでご確認ください。

コロナを乗り越え、活気を取り戻した海外イベント

■リアル開催型の商談会、見本市

シンガポール最大級の食品見本市「FHA 2023」は、4月25日～28日に開催され、各国から1,300社が出展し盛大に開催されました。しかしその内、日本からの出展は僅か20社と非常に少なく、一方お隣の韓国からは100社以上が出展していました。まだまだ、各国間の海外ビジネスマインドの回復には温度差はあるようです。

そんな中、最終日にイベントに訪問し、出展する日本企業の方に話



を聞いたところ、「コロナ前と比較しても引き合いが多かった。」「久々の海外出展で新しく出会ったバイヤーが多かった。」と、アフターコロナの現地需要回復と商談の盛り上がり伝わってきました。

ポイント

日本商材ニーズは高く、多くのバイヤーとの出会いが期待できる。しかし、商談会後はバイヤー自身も多くの出展者と商談を続ける。⇒効果的に継続商談を行わないと、商談会出展効果が薄れてしまう。

■現地百貨店での催事イベント

コロナ禍でも開催されてきた催事イベントですが、試食販売の禁止、渡航制限によりメーカーによる実演販売も実質不可であったことが影響し、盛り上がりには欠け、売上も伸び悩んでいたようです。しかし現状では、試食、実演販売は復活し、コロナ前の催事風景に戻っています。海外催事では、売上の一部が使用料、物流費、販売員費等経費として差し引かれますが、基本的に売上に比例して出展者に入る売上も増えます。百貨店の催事担当者に話を聞くと、「売上、集客ともコロナ前の水準に戻っており、今では試食販売も出来るため、出展者は売上も上げつつ現地の声も収集できる。最近、催事出展の問い合わせが増えていて、4月時点で2023年の9月までの催事枠はほぼ埋まっている。出展する企業には、売上が期待できる商品、実演販売が活きる商品、豊富な商品ラインナップなど求めている。」とのことでした。実際、催事枠も限られているため、百貨店側も出展者を選定することになります。そのため、商品選定、価格設定など現地ニーズを十分に踏まえ戦略的に進めないと催事参加自体できないことが想定されます。一方、自治体単位で催事を行うケースも多く、その参加枠での出展も期待できますが、常に行われているわけではなく、参加枠も制限があるため、ここに過度に期待せずに企業ごとに計画的に取り組んでいくことをお勧めします。



ポイント

海外催事出展により、現地マーケティングをしつつ売上をあげることができる。⇒催事出展ニーズは高く、百貨店側での出展業者選定もあるため、催事出展、効果的な運営のためには戦略的に進める必要がある。

CCイノベーションのコンサルティング

CCイノベーションでは、市場調査、販路開拓など、お客さまの個別ニーズに合わせたコンサルティングをご提供しております。例えば今回ご紹介した、商談会後の現地アフターフォロー、海外催事出展サポートなど、現地に拠点を構える弊社だからこそ提供できるサービスです。また、海外商談会、催事出展の場合のコスト、時間が課題となる場合は、より手軽な形でのテスト販売、マッチングなどのサポートスキームもございますので、貴社で海外販路開拓を進める際は、ぜひ弊社までご相談ください。

・本情報は、当社が作成時に信頼できると思われる情報源に基づき作成したものです。情報の正確性や完全性を保証するものではありません。お取引に関する最終ご判断はお客さまご自身でご判断いただき、必要な場合には顧問会計士や顧問弁護士などにご相談の上でお取扱いいただきますようお願い申し上げます。

・本情報についてのご照会やコンサルティングのご相談は、株式会社CCイノベーションまでお願い致します。

株式会社CCイノベーション 海外ビジネス担当

電話:076-223-9860